

由農

未来の
日本を創る

農業
担い人

THE FUTURE of
JAPAN CREATE

PROFILE

なりた しゅんすけ

成田 俊介 さん

NARITA SHUNSUKE

36歳

愛西市早尾町

地域や人との繋がりを 大切にしながら農業に勤しむ

愛西市早尾町でイチゴの栽培を行う成田俊介さんは、19アールの圃場を管理しながらあまイチゴ組合に所属して共撰出荷を行っています。今年で就農してから1年を迎えた成田さんは、元々は農業との関わりはありませんでしたが、家族との時間を大切にしたいという思いがありました。そのため、様々な地域へ足を運んだり農業大学校からアドバイスを受けたりしながら愛西市での就農を決意しました。

就農に際して、JAあいち海部の新規就農者支援事業「いちご道場」で2年間研修を受け、受入農家のもとでイチゴの栽培に関する基礎知識や技術、経営に必要な手続きなどを学びました。研修を経て「農業は努力した分だけ結果が表れるので、やりがいがあります。また、周りの方々にたくさん支援してもらっているの

で、少しでも恩返しがしていきたいです」と想いを語ります。研修で学んだことを活かしながら農業に取り組んでいる中、現在は1人で作業しているため作業量に対して人手不足であるとともに、病害虫の被害の判断などには苦労を感じています。そのため、まずは自分で株の状態を理解し、その状況に合った対応ができるようにするために、先輩農家の方からアドバイスをもらい堅実な栽培に努めています。今後は、色々な圃場へ足を運びながら、高設栽培の導入や安定した収量を確保するための技術の向上を目指しているそうです。

今年の苗は順調に生育が進んでおり「最初のころは実ができるか不安でしたが、初めて出荷できた時の喜びは大きかったです。就農してから、以前にも増して農家の方々の偉大さに気付き、地域や人との繋がりの温かさを感じました」と話す成田さん。

最後に「栽培技術をさらに身に付けて、安心して品質の高いイチゴを出荷していきますので、ぜひ食べてもらいたいです」とメッセージをいただきました。



▶親株と子株の切り離し作業

▶圃場に定植する前の苗